



イベントカレンダー



柳瀬川・野鳥&川の生き物ウォッチング

と き 2月21日(日) 9:00～12:00(9:00集合)
 ところ 志木中学校前の柳瀬川・土手
 志木市柏町3-2-2 (雨天時は中止)
 内 容 (1)野鳥:柳瀬川に沿って約4km弱を
 散策しながら調査します。
 (2)川の生き物:柳瀬川で生き物
 ・水質調査やごみ拾いをします。
 費 用 200円 中学生以下無料
 主 催 NPO法人エコシティ志木

問合せ先

TEL:048-471-1338(天田)

トークイベント 不老川と魚 聞きたい、知りたい、語りたい!

と き 3月6日(土) 13:30～
 ところ 入曽公民館 第一学習室
 内 容 このところ、不老川で魚が沢山みられる
 ようになりました。新河岸川流域の魚事情
 に詳しい人のお話を聞き、皆で語り、考えて
 いきましょう。
 講 師 小林一己さん(新河岸川水系水環境連絡会)
 主 催 不老川流域川づくり市民の会

問合せ先

TEL:04-2957-3425(村手)

第6回 川でつながる発表会

平成22年2月20(土)
 13:00～16:00
 (受付12:00)

明法中学・高等学校 講堂

主催:新河岸川流域川づくり連絡会
 新河岸川流域総合治水対策協議会

新河岸川流域内の学生が川、水、環境について日頃の活動成果を発表し、さまざまな世代が川について交流する場として、川でつながる発表会を開催します。

13:00 開 会
 13:10 発表会
 15:30 交流会
 16:00 閉 会

プログラム

新河岸川流域川づくり連絡会事務局
 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-2
 日本工営(株)都市・地域計画部
 防災マネジメントグループ
 担当 鎌田

TEL:03-3238-8257/FAX:03-3238-8239
 E-Mail:sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp

★ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。



お問合せ

事務局だより

第6回連絡会を開催しました

1月19日に開催された平成22年最初の連絡会では、「第6回川でつながる発表会」の開催内容や、今後の総合治水対策の展開について連絡会メンバーによる活発な意見交換が行われました。その「第6回川でつながる発表会」は2月20日に東村山市の明法中学・高等学校講堂で開催します。小学校から大学までの学生が日頃の学習成果を発表します。発表・展示を含めて様々な取組が成果を見ることができまますので、皆さんもぜひご来場ください。



ご参加ありがとうございました

川づくり連絡会に参加してみませんか?

原則第2火曜日に新河岸川流域川づくり連絡会を開催しています。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します!

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
 (国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
 〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/shingashi/>
 E-mail arage-shingashi@ktr.mlit.go.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS 新河岸川流域しんぶん

発 行 ●新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 調査課内)
 住 所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
 発行日 ●平成22年(2010)1月29日

VOL. 60



切り絵 毛利将範

1月に入ってぐっと冷え込むことが多くなりましたが、皆さん元気にお過ごしでしょうか。外は寒いのでつついてたつでゴロゴロ…なんてことはありませんか?

今号の特集では、川だけでなく流域全体で治水を考える「総合治水対策」について取り上げ、新河岸川流域内の様々な関連施設を紹介しています。皆さんも身近な場所にある緑地や調節池などを見に、外へ出かけませんか。いつも見かけていたあの場所が、実は総合治水に役立っていた、など意外な発見があるかもしれませんよ!

目次

P2 報告:平成21年度 新河岸川流域 秋の川まつり

P3 連載:気になる水循環(5)

P4 イベント・事務局便り

P5 特集:総合治水対策ってなんだ?

平成21年度 新河岸川流域 報告

秋の川まつり

平成21年10月から11月にかけて、新河岸川流域各地では秋の川まつりが開催されました。川の自然に親しむと同時に、秋らしく音楽などの催しものを皆で楽しんだ秋の集いをレポートします！



10月18日に大泉井頭公園で開催されました。会場では、練馬区立大泉南小学校による「白子川調べ学習」の発表や、川づくり団体による雨水の貯留や浸透の様子が見える模型の展示など、世代を越えた、湧水と生物豊かな白子川源流に向けた活動を知ることができました。

白子川源流まつり2009

【主催】
白子川源流まつり実行委員会

後援・練馬区、練馬区教育委員会
練馬まちづくりセンター
協賛・練馬区社会福祉協議会、観光協会



主催者からのひとこと

『白子川源流まつり』の光と影
『源流まつり』を9年前に始めた理由は、湧水の白子川を地元の人に知らせるため、それによって豊かな水辺環境を守るためでした。9年続いているのは、①河川環境管理財団から5年間の助成金が受けられたこと②会員の川と地元への熱い想いがあったからです。



第13回越戸川まつり

【主催・共催】
和光自然環境を守る会
・埼玉県朝霞県土整備事務所



主催者からのひとこと

約600人が参加、お楽しみの「ジャブジャブ魚捕り大会」では新倉小学校の生徒さんが17尾捕り、初代チャンピオンとなりました。越戸川で捕れた魚は17種で鮎もいました。お琴の演奏や空きペットのリサイクルボートも人気でした。

10月24日、和光市にある赤池親水公園で開催されました。当日は天候に恵まれ秋晴れの空の下、子供たちはボート遊びや魚捕りに夢中でした。川遊びの他、琴の演奏、合唱やフリーマーケットもあり、子供から大人まで楽しめるお祭りになりました。



黒目川・秋の川まつり2009

【主催】
埼玉県朝霞県土整備事務所



参加者からのひとこと

行政、市民団体、企業団体など、いろいろな主体が協力して行うイベントとして、これからも続けていきたいですね。

恒例となった秋の川まつりは、埼玉県朝霞県土整備事務所による県土まつりとして、11月15日に埼玉県朝霞県土整備事務所駐車場で開催されました。流域各団体のパネル展示、水質調査、黒目川の魚類展示や東洋大学の学生による軽音楽演奏、漁協の投網実演などのほか焼きそばや焼き鳥の屋台も出て、大変盛り上がりしました。



「主催者からのひとこと」「参加者からのひとこと」は川づくり団体の皆さんより寄稿いただきました。

気になる水循環 (5)

新河岸川の支川、柳瀬川の流域で取り組まれている健全な水循環を取り戻すための「柳瀬川流域水循環再生プラン(マスタープラン・アクションプラン・市民からの提言書)」に係わる活動の様子を紹介します。

柳瀬川流域水循環幹事会

幹事会は、柳瀬川流域の行政担当者(国、県、市町)が集まり、アクションプランにおける行政の取組について協議する場です。平成21年度は10月27日に開催され、水循環の指標として湧水を取り上げたり、都県市町における取組内容の確認が行われました。

柳瀬川流域水循環市民懇談会

水循環の再生のためには、市民を含めた様々な立場の人々が主体的に活動していくことが必要です。柳瀬川流域では、健全な水循環を取り戻すためにできることを市民が話し合う場として市民懇談会を開催しています。平成17年の公募に応じたメンバー約100名により、アクションプランや取組について熱心な意見交換が行われています。(平成21年度は2月に開催予定)

湧水調査



市民による湧水調査の様子

市民の取組の一つとして緑地保全や雨水の浸透促進などの他に、湧水の調査があります。地面に浸透した地下水が湧き出る湧水は、水循環の一つの目安になります。湧水の地点数や水量を定期的に調べていくことで、水循環の変化がわかります。



第4回市民懇談会の様子

そうごうちすいたいさく
総合治水対策って、
なんだ？

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/shingashi/>
E-mail arage-shingashi@ktr.mlit.go.jp